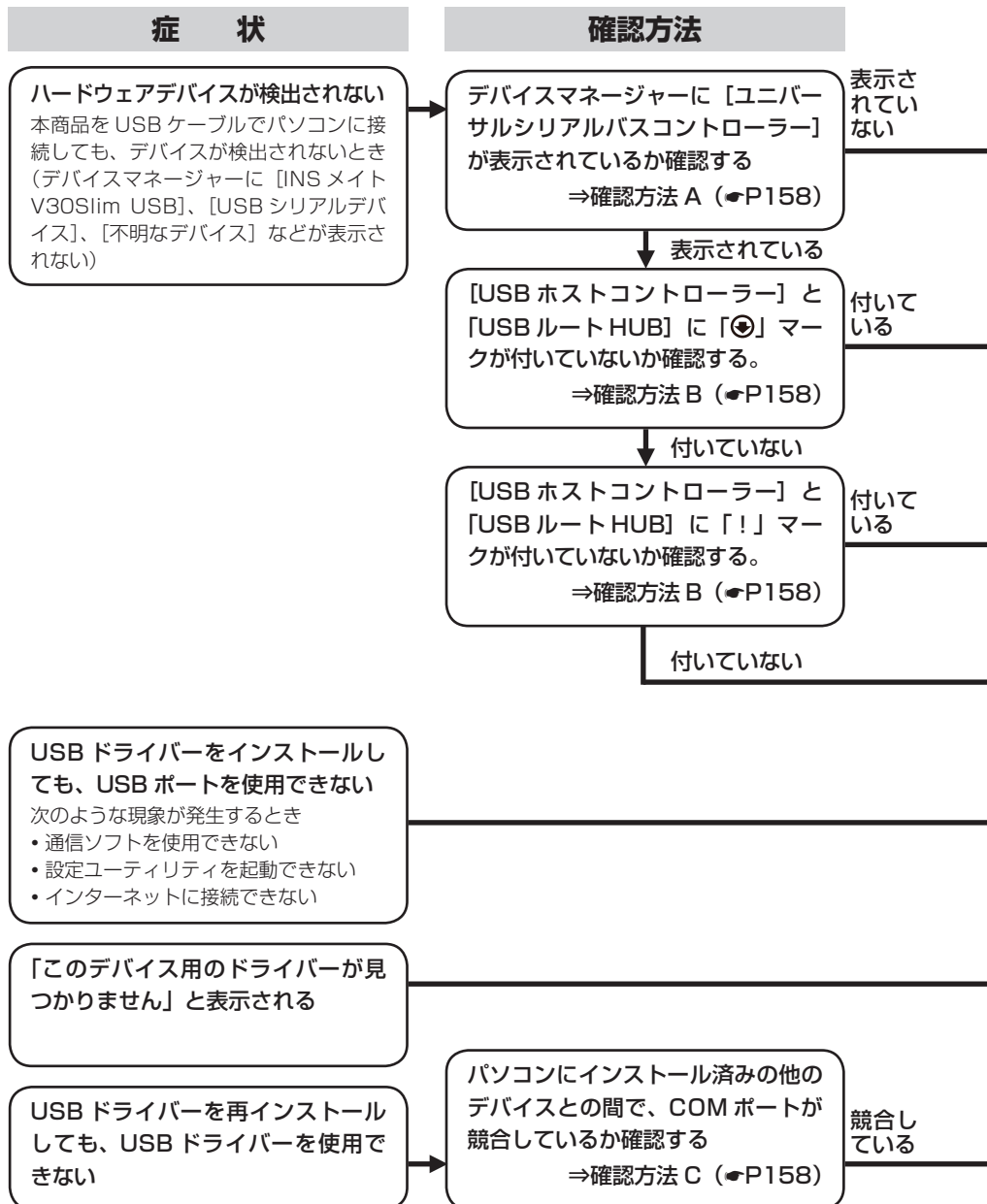


-
-
-
- 1 USB ドライバーについて……………156
 - 2 ソフトウェアのアンインストール
について……………163
 - 3 ご参考に……………165

1 USBドライバー について

USB ドライバーを使用できないときは

USB ドライバーをインストールできないとき、USB ドライバーをインストールしても使用できないときは、次の図に従って原因を突き止め、対処してください。

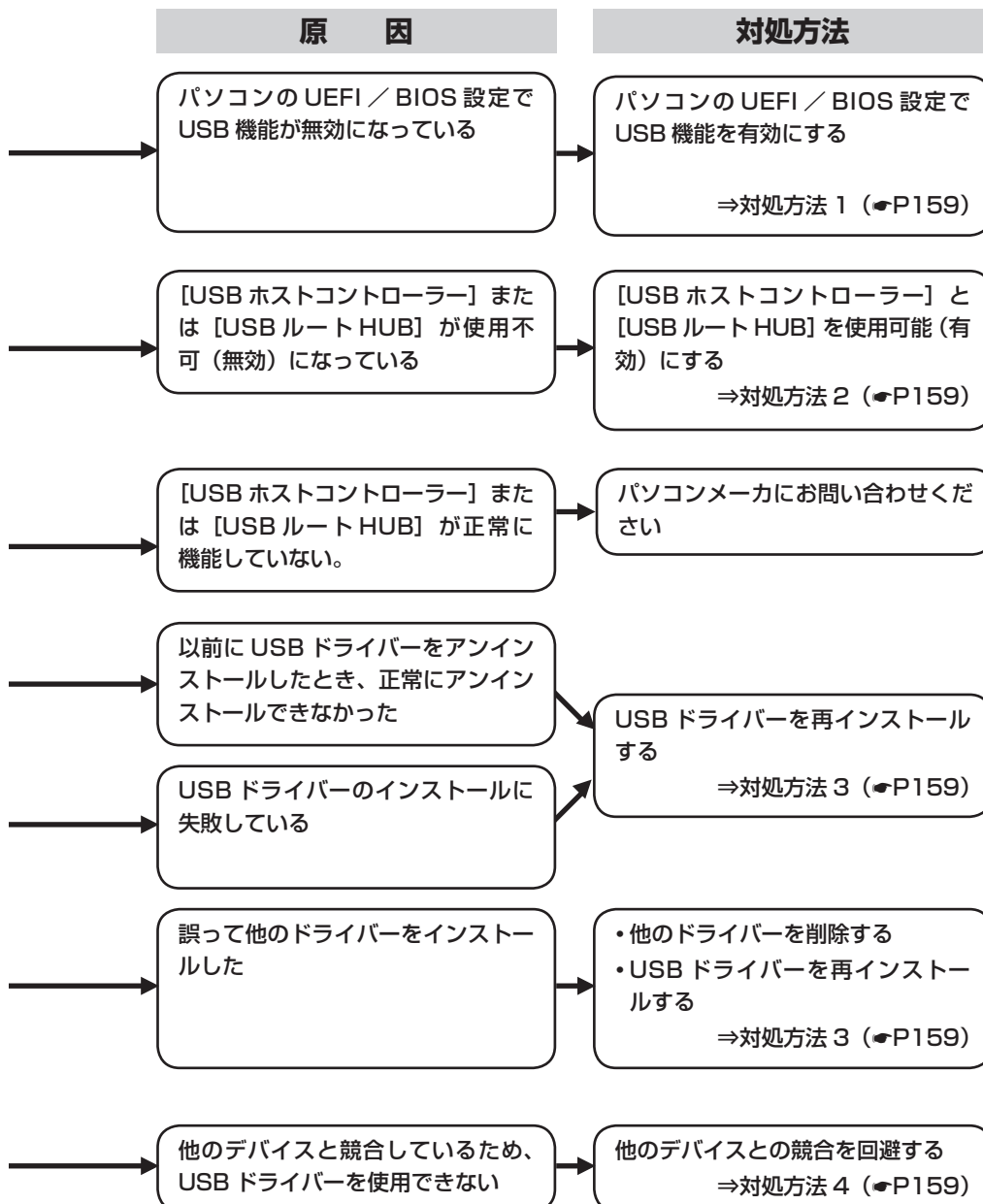




1
USBドライバ
について

2
ソフトウェ
アについ
て

3
参考に



確認方法

確認方法 A

[ユニバーサルシリアルバスコントローラー]を確認する

- Windows® 10 の場合
 - ① [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システム ツール] - [コントロールパネル] をクリックする。
 - ② コントロールパネルから [ハードウェアとインターネット] - [デバイスマネージャー] をクリックする。
 - ③ 一覧に [ユニバーサルシリアルバスコントローラー] が表示されているか確認する。
- Windows® 8.1 の場合
 - ① [スタート] ボタンを右クリックし、クリックリンクメニューの [コントロールパネル] をクリックする。
 - ② コントロールパネルから [ハードウェアとインターネット] - [デバイスマネージャー] をクリックする。
 - ③ 一覧に [ユニバーサルシリアルバスコントローラー] が表示されているか確認する。
- Windows® 7 の場合
 - ① [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックする。
 - ② コントロールパネルから [ハードウェアとインターネット] - [デバイスマネージャー] をクリックする。
 - ③ 一覧に [ユニバーサルシリアルバスコントローラー] が表示されているか確認する。

確認方法 B

[USB ホストコントローラー] と [USB ルート HUB] を確認する

- ① [デバイスマネージャー] の画面で、[ユニバーサルシリアルバスコントローラー] をダブルクリックする。
- ② [ユニバーサルシリアルバスコントローラー] 内の [USB ホストコントローラー] と [USB ルート HUB] に「Ⓢ」、「!」マークが付いているか確認する。

確認方法 C

COM ポートが競合しているかどうかを確認する

- 本商品の USB ドライバー
 - ① コントロールパネルの表示方法を [小さいアイコン] に変更し、[電話とモデム] をクリックする。
 - ② [電話とモデムのオプション] - [モデム] 内の INS メイト V30Slim USB の接続先を確認する。
- 拡張 RS-232C ポート、USB シリアルデバイス

[デバイスマネージャー] 画面の [ポート (COM/LPT)] で確認する。

- ※ [ユニバーサルシリアルバスコントローラー] は、[USB (Universal Serial Bus Controller)] と表示される場合もあります。
- ※ [USB ホストコントローラー] の名称は、パソコンの種類により異なります。名称の最後が [Host Controller] または [ホストコントローラー] となっているのが一般的です。
- ※ [USB ルート HUB] は、[USB root Hub] または [USB ルートハブ] と表示される場合もあります。
- ※ ここに記載しているものは、あくまで確認方法の例ですので、装置またはパソコンの種類によっては、手順が異なる場合があります。

対処方法

対処方法 1


UEFI / BIOS 設定で USB 機能を有効にする


UEFI / BIOS の設定方法は、パソコンの種類によって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。パソコンメーカーにお問い合わせください。

対処方法 2

[USB ホストコントローラー] と [USB ルート HUB] を使用可能にする

<例> [USB ルート HUB] に「」マークが付いている場合

- ① [USB ルート HUB] をダブルクリックして、プロパティ画面を開く。
- ② [ドライバー] タグの [有効] をクリックし、[OK] をクリックする。
- ③ 「」マークが消えていることを確認する。
- ④ パソコンを再起動する。

* [USB ホストコントローラー] に赤色の「」マークが付いている場合も同様の手順を行ってください。

対処方法 3

USB ドライバーを再インストールする


- ① [不要になったドライバーを削除する] (P163) の手順に従って、インストールした USB ドライバーを削除する。
- ② USB ドライバーをインストールする。

対処方法 4

他のデバイスとの競合を回避する

COM ポートの競合を回避する手順としては、以下の 2 つがあります。

1. 競合している他のデバイス (拡張 RS-232C ポートや USB シリアルデバイス) を使用不可にする

- ① [デバイスマネージャー] 画面の [ポート (COM/LPT)] で、競合しているポートのデバイスをダブルクリックする。
- ② [ドライバー] タグの [無効] をクリックし、確認ダイアログで [はい] をクリックする。
- ③ プロパティ画面の [OK] をクリックする。
- ④ 競合しているポートのデバイスに「」マークが付くことを確認する。
- ⑤ パソコンを再起動する。

2. 他デバイスの使用 COM ポート番号の設定を、本商品の USB ドライバーと競合しない番号に変更する

他デバイスの COM ポートの設定方法については、製品により異なるため、その製品の取扱説明書をご覧ください。その製品のメーカーまたはパソコンメーカーにお問い合わせください。

●インストールに関して

Q.USB ポートを使用できるパソコンの OS は何ですか。

A.Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7です。

Q.USB ドライバーのインストール時にパソコンがフリーズしてしまったのですが。

A. 以下の手順で、もう一度インストールをしてください。

- ①パソコンを再起動します。
- ②「不要になったドライバーを削除する」(●P163) の手順に従い、ドライバーを削除します。
- ③イーージーウィザードを起動します。(●P50)
- ④「USB ポートを使うには」(●P41) の手順で USB ドライバーをインストールします。

Q. イーージーウィザードの実行途中で USB ドライバーのアンインストールを行ったのですが。

A. イーージーウィザードの実行途中で USB ドライバーのアンインストールを行った場合は、イーージーウィザードのアンインストールを行い、CD-ROM から再度ユーティリティのインストールを行ってください。

Q. イーージーウィザードを用いての USB ドライバーのインストールに失敗したのですが。

A. イーージーウィザードを用いての USB ドライバーのインストール、または USB ドライバーのアップデートに失敗した場合は、パソコンを再起動してやり直してください。

それでも失敗する場合は、付属の CD-ROM 「参考情報」の「イーージーウィザードが利用できないときは」の手順に従って、手動で USB ドライバーのインストールを行ってください。

●データ通信利用時や、設定ユーティリティ利用時

Q. 通信ソフトウェアや V30Slim 設定ユーティリティ動作中に USB ケーブルの抜き差しや本商品の電源の OFF → ON を行ったら、パソコンがフリーズしたのですが。

A. お使いのパソコンによっては、通信ソフトウェアの動作中や、設定ユーティリティの動作中に以下のようなことを行うとパソコンがフリーズしたり、例外エラー等が発生することがあります。そのような場合にはパソコンを再起動してください。

- ・ USB ケーブルの抜き差し (パソコンの USB ポート、本商品の USB ポートどちらでも)
- ・ 本商品の電源を OFF → ON したとき
- ・ 通信ソフトウェア上で、本商品のリセット処理 (ATZ98) を行ったとき
- ・ 電話機からの設定で、リセット処理を行ったとき

Q. パソコンのスタンバイ、サスペンド機能が動作したあと、データ通信 (インターネット接続) や設定ユーティリティの起動ができなくなるのですが。

A. パソコンのスタンバイモード、サスペンド機能を使用しないでください。

また、パソコンの省電力機能により USB の使用が制限されることがありますので、コントロールパネルの [パワーマネジメント] または [電源の管理] など、パソコンの省電力機能を停止させてください。

さらに、パソコンによっては起動時の UEFI / BIOS 設定にて省電力の設定を行うものもあります。ご使用になっているパソコンの取扱説明書を参照して、省電力機能を停止させてください。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

●その他

Q. パソコン動作中に USB ケーブルを抜き差しするとパソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生する。

A. お使いになっているパソコンの環境によっては、パソコン動作中に USB ケーブルの抜き差しや、本商品の電源 OFF → ON を行うと、パソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生することがありますのでご注意ください。
その場合はパソコンを再起動してください。

Q. 他の USB デバイスと同時に使用できますか。

A. 1 台のパソコンに本商品と他の USB デバイスを同時に接続した場合、両デバイスが 1 つの USB バスを共有することになります。個々のデバイスの特性、制御方法の違いにより、お互いが影響しあい、本商品の通信速度が遅くなったり使用できなくなる場合があります。
このような場合には、他の USB デバイスと同時に接続しないようにしてください。

Q. USB ポートが使用できないのですが。

A. パソコンによっては USB ポートがご利用になれない場合があります。詳しくは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

Q. USB ポートを使用する場合の COM ポートはどこですか。

A. COM ポートはパソコンの OS が自動的に決定します。パソコンに接続する周辺機器によっては使用する COM ポートが重複し、USB ポートが使用できない場合があります。
このような場合には周辺機器の接続を外し、周辺機器用に使用するドライバー類を削除してください。

Q. 本商品の ER ランプが点灯したままになってしまったのですが。

A. 回線を切断するのに失敗するなどして、本商品の ER ランプが点灯したままになっている場合は、パソコンを再起動してください。

Q. USB ケーブルを別の USB ポートにつなぎ替えると新しく USB ドライバーがインストールされ、その後設定ユーティリティが起動できなくなる。

A. 接続している USB ポートを変更した場合、COM ポートの番号割付が変わることがあります。接続している USB ポートを変更する場合は、「不要になったドライバーを削除する」(●P163)の手順に従って、USB ドライバーを削除してから再度インストールしてください。

不要になったドライバーを削除する

本商品を使用しなくなった場合は、インストールした USB ドライバー、または RS-232C ポート用ドライバーを削除することができます。

Windows® 10 の場合を例に説明します。

- 1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。
- 2 本商品とパソコンを USB ケーブル、または RS-232C ケーブルで接続しておく。
ご使用になっていた接続方法で接続してください。
- 3 [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システムツール] – [コントロールパネル] をクリックする。
 - Windows® 8.1 の場合、[スタート] ボタンを右クリックし、クイックリンクメニューの [コントロールパネル] をクリックする。
 - Windows® 7 の場合、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックする。
- 4 コントロールパネルの [ハードウェアとサウンド] をクリックする。
- 5 [デバイスマネージャー] をクリックする。
[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されることがあります。
- 6 [表示] メニューをクリックし、[非表示のデバイスの表示] をクリックする。
- 7 [モデム] をクリックし、登録されているデバイスを表示する。
- 8 [INS メイト V30Slim] の名称のついたデバイスを選択して右クリックし、[デバイスのアンインストール] をクリックする。
[デバイスのアンインストール] 画面が表示されます。
 - Windows® 8.1、Windows® 7 の場合、[削除] をクリックします。「デバイスのアンインストールの確認」画面が表示されます。
- 9 「このデバイスのドライバー ソフトウェアを削除します」が表示される場合は、チェックして [アンインストール] をクリックする。
選択したドライバーが削除され、操作 7 に戻ります。
複数のデバイスが表示された場合は、操作を繰り返して、すべてアンインストールしてください。
 - Windows® 8.1、Windows® 7 の場合、[はい] をクリックします。
- 10 本商品とパソコンの接続ケーブルを外し、パソコンを再起動する。



「ユーティリティをアンインストールする」(P164) へ進みます。

2 ソフトウェアのアンインストールについて

ユーティリティをアンインストールする

本商品を使用しなくなった場合は、インストールしたユーティリティを削除することができます。

Windows® 10 の場合を例に説明します。

1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。

2 [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システムツール] – [コントロールパネル] をクリックする。

- Windows® 8.1 の場合、[スタート] ボタンを右クリックし、クイックリンクメニューの [コントロールパネル] をクリックする。
- Windows® 7 の場合、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックする。

3 コントロールパネルの [プログラムのアンインストール] をクリックする。

4 プログラムの一覧から「INS メイト V30Slim ユーティリティ」を選択して右クリックし、「アンインストール」をクリックする。

「プログラムと機能」画面が表示されます。

5 [はい] をクリックする。
ユーティリティがアンインストールされます。



6 本商品とパソコンの接続ケーブルを外し、パソコンを再起動する。

CD-ROMの「参考情報」について

以下の項目については、付属のINS メイト V30Slim 専用 CD-ROMの「参考情報」(PDF ファイル)をご覧ください。

1
USB
ドライ
バー2
アソ
フト
ウェ
アの
ス
ト
ア3
ご
参
考
に

パソコン活用編

■ 設定ユーティリティの活用

INS メイト V30Slim の設定ユーティリティを使って通信料金、通信履歴などの情報を確認する方法について説明しています。

■ パソコンでの設定画面

INS メイト V30Slim の設定ユーティリティの画面と設定内容について説明しています。

■ いろいろな通信機能

INS メイト V30Slim を使った通信のいろいろな機能を紹介しています。

■ RS-232C ポートの設定

イーザーウィザードを使ったRS-232C ポートの設定方法を説明しています。

手動設定編

イーザーウィザードが利用できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法、インターネット接続の設定を行う方法について説明しています。

その他

■ AT コマンド

AT コマンドは、米国 Hayes 社が開発したモデムを制御するコマンドで、多くのモデムで採用されています。INS メイト V30Slim は、AT コマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを採用しています。AT コマンドで行う設定の主な項目は、設定ユーティリティをご利用になると簡単に設定することができます。(P50)

■ 設定記入シート

「参考情報」に、設定記入シート(PDF ファイル)を収録してあります。PDF ファイルをプリントアウトして設定内容を記入し、保守のための資料としてご利用ください。

 お知らせ

- PDF ファイルをお読みいただくためには、Adobe Systems Incorporated (アドビ・システムズ社) の Adobe Acrobat Reader® DC または、それに類する機能が必要です。
- Adobe Acrobat Reader® DC のインストールが必要な場合は、Adobe Systems Incorporated (アドビ・システムズ社) のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

3 ご参考に

お買い求め時の設定に戻すには (初期化)

本商品の設定をお買い求め時の状態に戻すことができます。設定ユーティリティを使う方法、電話機から操作する方法があります。設定ユーティリティで初期化した場合は、設定内容の一部はそのまま残りますが、電話機の操作で初期化した場合は、すべての設定内容がお買い求め時の状態に戻ります。

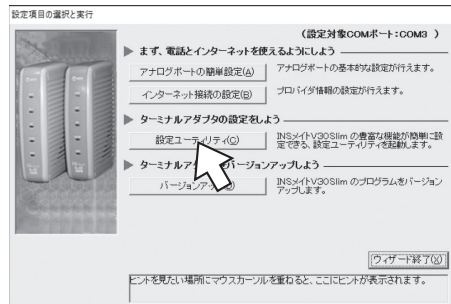
設定ユーティリティで初期化を行う

初期化を行っても、以下の設定内容はそのまま残ります。

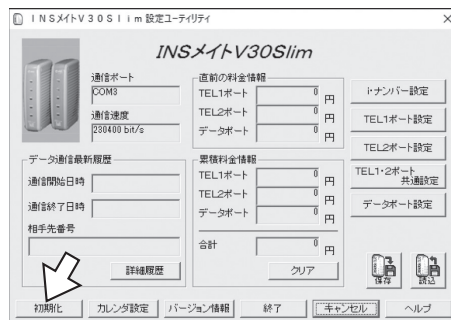
- ・ 発信者番号、i・ナンバー電話番号、各ポートの着信する番号、各ポートのサブアドレス、モデムダイヤルイン用契約者回線番号、疑似なりわけ番号、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号、着信転送元サブアドレス、迷惑電話防止電話番号、通信履歴、アナログポートの着信履歴、カレンダー

1 イージーウィザードを起動する。(P50)

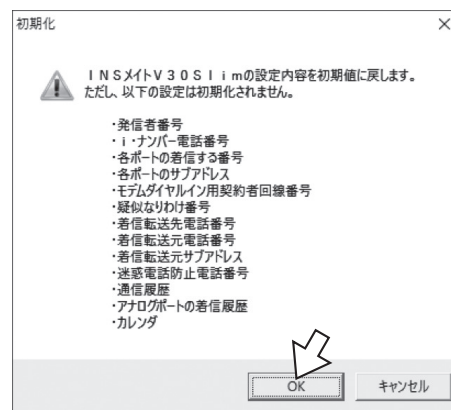
2 [設定項目の選択と実行] 画面で [設定ユーティリティ] をクリックする。



3 [初期化] をクリックする。



- 4 [OK] をクリックする。
設定内容が初期化され、お買い求め時の状態に戻ります。



電話機で初期化を行う

電話機の操作で初期化を行うと、すべての設定内容がお買い求め時の状態に戻ります。

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ツー」という発信音が聞こえます。
INS ネット 64 に接続していない場合は、話中音が聞こえます。



- 2 * * * と押す。
「ブツ」という設定開始音が聞こえます。



- 3 0 を押す。



- 4 9 9 9 と押す。



(次ページへ続きます)

お買い求め時の設定に戻すには (初期化)

(前ページの続きです)

5 * ボタンを押す。



6 9 9 と押す。



7 # を押す。
本商品が再起動します。



8 ハンドセットを置く。



本商品のバージョンアップを行うには

イーजीウィザードを利用して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページを参照してください。

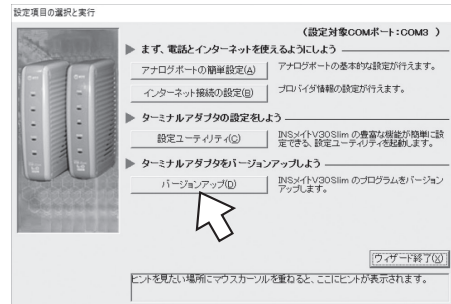
当社のホームページ <http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。

Windows® 10 の場合を例に説明します。

1 イーजीウィザードを起動する。(P50)

2 [バージョンアップ] をクリックする。



ワンポイント

- **バージョンアップにかかる時間は**
本商品とパソコン間の通信速度や、お使いのパソコンの能力によって異なりますが、約3～10分で終了します。通信速度が19.2 kbit/sの場合は、約10分です。
- **バージョンアップに失敗したときは**
バージョンアップ失敗の画面が表示されますので、いったん電源アダプタおよび乾電池を抜いてください。RS-232C ケーブルまたはUSB ケーブルが正しく接続されていることを確認して、電源アダプタを差し込み、乾電池を入れ直して、もう一度バージョンアップを実行してください。

お知らせ

- バージョンアップを正常に終了させないと、PWR ランプが遅い点滅（緑）し、以下の機能を除き本商品が動作できなくなります。
 - ・アナログポートに接続したアナログ通信機器での発信、着信
 - ・データポートに接続したパソコンからの同期 64 kbit/s のインターネット接続
- バージョンアップを実行しても、バージョンアップ前の設定は保存されます。ただし、以下の内容は保存されません。
 - ・カレンダー設定
 - ・直前の料金情報
 - ・累積料金情報
 - ・データ通信履歴

お願い

- バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

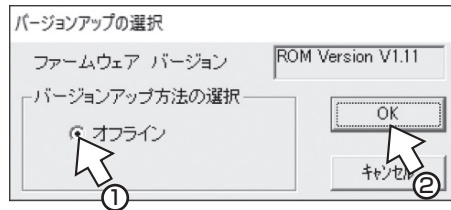
(次ページへ続きます)

3 ご参考に

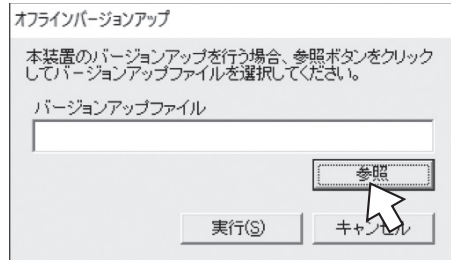
本商品のバージョンアップを行うには

(前ページの続きです)

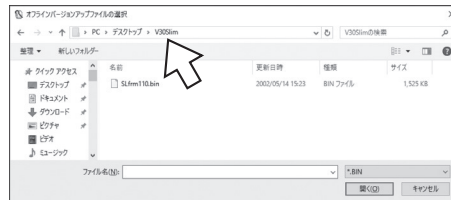
3 [オフライン] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックする。



4 [参照] をクリックする。



5 [ファイルの場所] で、バージョンアップファイルを保存したフォルダを選択する。



6 バージョンアップファイルを選択して [開く] をクリックする。





1
USB
ドライ
バー
につ
いて

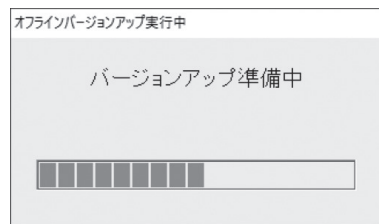
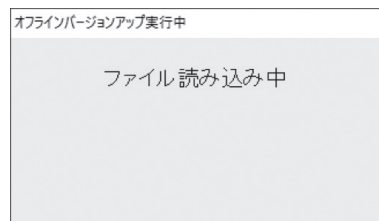
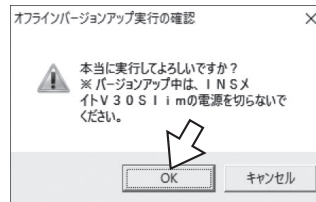
2
ア
ン
ソ
フ
ト
ウ
ェ
ア
の
つ
い
て

3
参
考
に
し
て

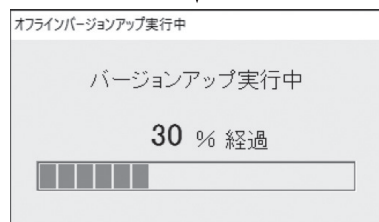
7 [実行] をクリックする。



8 [OK] をクリックする。



バージョンアップが始まります。



(次ページへ続きます)

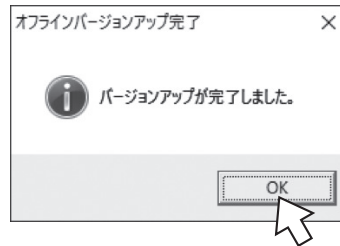
3 ご参考に

本商品のバージョンアップを行うには

(前ページの続きです)

9 完了画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

バージョンアップが終了し、本商品は自動的にリセットされます。



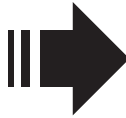
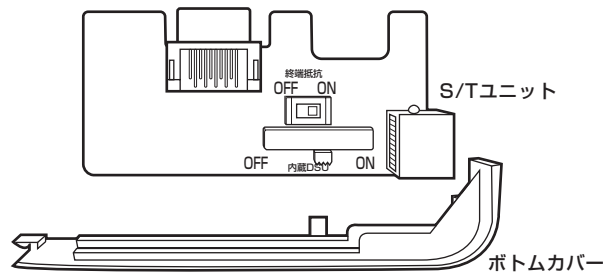
3 ご参考に

オプションをご利用になるには

本商品のオプションとして、INS メイト V30S/T ユニットを別売しています。ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●INS メイト V30S/T ユニット

本商品以外の INS ネット 64 用通信機器を接続したり、すでにお持ちの DSU をご利用になることができます。



S/T ユニットを準備する (●P174)

STOP お願い

- S/T ユニットのスイッチを設定する場合は、S/T ユニートを本商品から取り外した状態で行い、スイッチは確実に切り替えてください。
- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/T ユニートに付属のボトムカバーは 1 個 (1 色) です。

⚠ 注意

- S/T ユニートの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

1
USB
ドライ
バー
につ
いて

2
ソフ
トウ
ェア
につ
いて

3
ご参
考に

オプションをご利用になるには

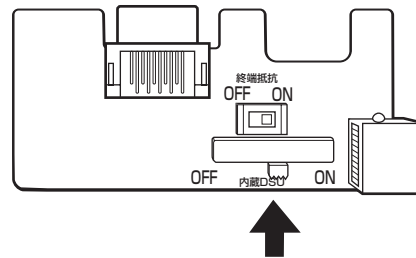
S/T ユニットの準備する

S/T ユニットの装着することにより、外付け DSU を使用したり、INS ネット 64 用通信機器を最大 7 台まで接続することができます。

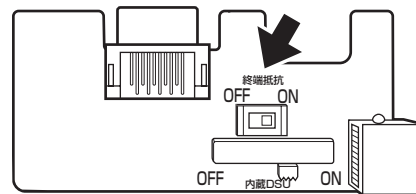
INS ネット 64 用通信機器を接続する台数によって、終端抵抗スイッチの設定、配線方法が異なります。あらかじめ S/T ユニットの設定を行ってください。

① S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチを設定します。

- ・内蔵 DSU をご使用になる場合は ON にします。
- ・外付け DSU をご使用になる場合は OFF にします。



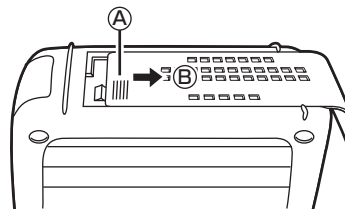
② 接続する INS ネット 64 用通信機器の台数、配線方法に合わせて、S/T ユニットの終端抵抗スイッチを設定します。(☛P180)



③ 電源アダプタをコンセントから抜き、乾電池を取り外します。

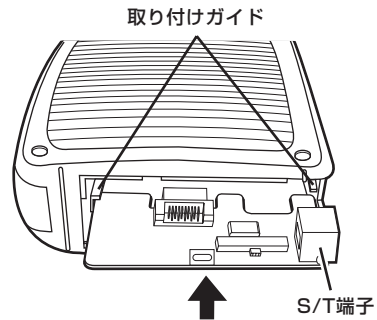
④ 本商品のボトムカバーを取り外します。

- Ⓐの部分を押しながら、Ⓑの方向へスライドさせます。

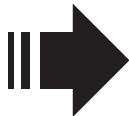
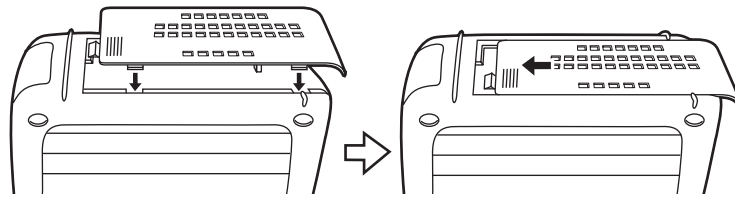


- 5 S/TユニットのS/T端子を持ち、S/Tユニットの中央白色部分を押し、本商品に取り付けます。

取り付けガイドに沿って取り付けてください。
無理に押し込まないでください。



- 6 S/Tユニットに付属のボトムカバーを取り付けます。



必要に応じて次のページへ進みます。

- すでにお持ちのDSUを接続する (☛P178)
- 本商品以外のINS ネット64用通信機器を接続する (☛P179)
- S/Tユニットを取り外す (☛P176)

STOP お願い

- S/Tユニットのスイッチを設定する場合は、S/Tユニットを本商品から取り外した状態で行い、スイッチは確実に切り替えてください。
- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/Tユニットに付属のボトムカバーは1個(1色)です。

⚠ 注意

- S/Tユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

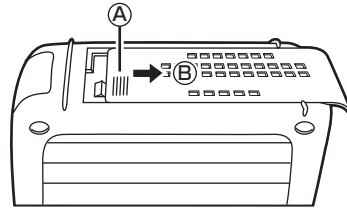
オプションをご利用になるには

S/T ユニットを取り外す

① 電源アダプタをコンセントから抜き、乾電池を取り外します。

② S/T ユニットのボトムカバーを取り外します。

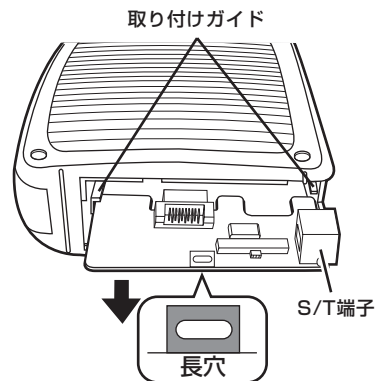
Ⓐ の部分を押しながら、Ⓑ の方向へスライドさせます。



③ 本商品を押さえながら、S/T ユニットの S/T 端子を持って、まっすぐ手前に引きます。

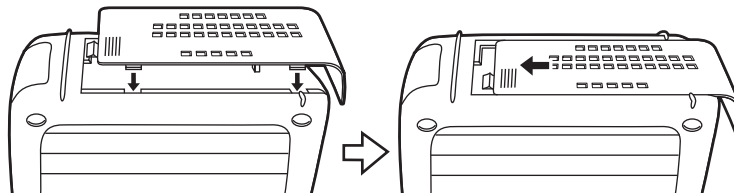
ななめ方向に傾けて引くと、S/T ユニットが外れません。

外しにくいときは、S/T ユニットの中央白色部分の長穴にドライバなどを差し込んで手前に引いてください。



④ 本商品に付属のボトムカバーを取り付けます。

ボトムカバーは、S/T ユニットを取り付ける前に本商品に取り付けられていたものを使用してください。



1
USBドライバ
について

2
ソフトウェ
アインストー
ルについて

3
ご参考

STOP お願い

- 本商品内部に異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
- S/Tユニットの長穴にドライバなどを差し込んだまま、ねじったりひねったりしないでください。

! 注意

- S/Tユニットの取り付け、取り外しは電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

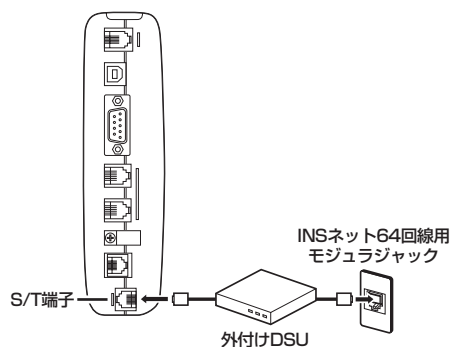
オプションをご利用になるには

すでにお持ちの DSU を接続する

すでに DSU、DSU 内蔵の機器など（外付け DSU）をお持ちの場合は、S/T ユニットを取り付けることにより、外付け DSU をお使いになることができます。

- ① S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチを OFF にします。
- ② 配線方法に合わせて、S/T ユニットの終端抵抗スイッチを設定し（●P180）、本商品に取り付けます。（●P174）
・ DSU に終端抵抗の設定がある場合は、終端抵抗スイッチを OFF に設定してください。

- ③ S/T 端子に外付け DSU を接続します。
- ④ INS ネット 64 回線用モジュラージャックに外付け DSU を接続します。



- ⑤ 以降は、内蔵 DSU をご利用の場合と同様に、通信機器、パソコンなどを接続して電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。（●P29）

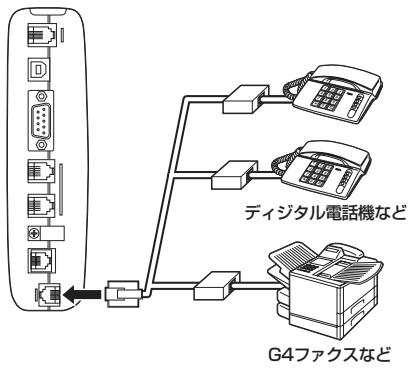


- 1
USBドライバ
について
- 2
ソフトウェ
アについて
- 3
「参考」

本商品以外の INS ネット 64 用通信機器を接続する

S/T 端子にケーブル（別売）を接続します。

- ① S/T ユニットの内蔵 DSU スイッチを ON にします。
- ② 接続する台数、配線方法に合わせて、S/T ユニットの終端抵抗スイッチを設定し（●P180）、本商品に取り付けます。（●P174）
- ③ INS ネット 64 用通信機器を S/T 端子につなぎます。
接続ケーブルは別途ご用意ください。



- ④ 電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

STOP **お願い**
● INS ネット 64 用通信機器の接続は、配線が全長で 150 m 以下となるようにしてください。

オプションをご利用になるには

INS ネット 64 用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定

本商品のほかに、INS ネット 64 用通信機器を最大 7 台まで接続して使用できます。
 接続方法によって内蔵 DSU スイッチ、終端抵抗スイッチの設定が異なりますので、次の表でご確認ください。

接続方法	内蔵 DSU スイッチ	終端抵抗スイッチ	接続図
内蔵 DSU 本商品に INS ネット 64 用通信機器を 1 台接続する場合、接続ケーブルが 10 m 以下の場合	ON (お買い求め時の状態)	ON (お買い求め時の状態)	<p>INS ネット 64 用通信機器</p> <p>接続ケーブル 10 m 以下</p> <p>INS ネット V30Slim</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：ON</p>
INS ネット 64 用通信機器の接続が 1 台で、接続ケーブルが 10 m 以上の場合、および 2~7 台接続する場合	ON (お買い求め時の状態)	OFF	<p>モジュラジャック (終端抵抗付き)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>INS ネット V30Slim</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：OFF</p> <p>※本商品から見て、S/T 端子に接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗つきモジュラジャックを使用してください。</p>
外付け DSU 本商品のみを接続する場合	OFF	ON (お買い求め時の状態)	<p>INS ネット V30Slim</p> <p>INS ネット 64 用通信機器が本商品 1 台</p> <p>外付け DSU</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：ON</p>
本商品が DSU から最遠端の場合	OFF	ON (お買い求め時の状態)	<p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>INS ネット V30Slim</p> <p>外付け DSU</p> <p>モジュラジャック</p> <p>本商品を DSU から見て最遠端に接続</p> <p>終端抵抗：ON</p>
本商品が DSU から最遠端でない場合	OFF	OFF	<p>モジュラジャック (終端抵抗付き)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>モジュラジャック (終端抵抗なし)</p> <p>INS ネット V30Slim</p> <p>外付け DSU</p> <p>モジュラジャック</p> <p>本商品を DSU から見て最遠端でない位置に接続</p> <p>終端抵抗：OFF</p>

※モジュラジャックの有無は、接続のしかたによって異なります。

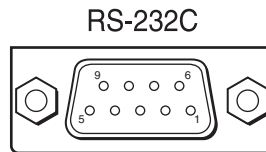
3 参考に

RS-232C ポートインタフェース

本商品の RS-232C ポートにパソコンなどを接続する場合は、付属品の RS-232C ケーブルを使用してください。RS-232C ポートのインタフェースは次のようになっています。

■ コネクタ形状

9ピンコネクタ (オス型)



■ RS-232C ポートインタフェースの信号線

ピン番号	JIS	信号方向 パソコン V30 Slim	名称	機能
シエル	(FG)		保安用接地	装置のフレームアースです。
1	CD	←	キャリア検出	INS メイト V30Slim が、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON : パソコンにデータ受信を要求します OFF : パソコンにデータ受信を要求しません
2	RD	←	受信データ	INS メイト V30Slim からパソコンへ送られるデータです。
3	SD	→	送信データ	パソコンから INS メイト V30Slim へ送られるデータです。
4	ER	→	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します。 ON : パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します OFF : パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します
5	SG		信号用接地	相互接続回路に基準電位を与えます。
6	DR	←	データセットレディ	INS メイト V30Slim の動作準備ができているかどうかを示します。 ON : パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します OFF : パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します
7	RS	→	送信要求	データ送信許可を要求します。 ON : データ送信許可を要求します OFF : データ送信許可を要求しません
8	CS	←	送信可	データ送信可能かどうかを示します。 ON : データ送信が可能です OFF : データ送信できません
9	CI	←	被呼表示	着信していることをパソコンに示します。 ON : 着信があることを示します OFF : 着信がないことを示します

■ 通信仕様

同期方式	非同期
データ長	8 bit
パリティビット	なし
ストップビット	1 bit
通信速度	9.6/19.2/38.4/57.6/115.2/230.4 (kbit/s)

1
USB
ドライバ
ー
に
つ
い
て

2
ア
ソ
フ
ト
ウ
ェ
ア
の
に
つ
い
て

3
参
考
に

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	☛P29
	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタを正しく差し込んでください	☛P29
	S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☛P174、180
	外付けDSUに接続していて、S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがONになっている	内蔵DSUスイッチをOFFにしてください	☛P174、180
停電時に動作しない	停電時動作の乾電池が消耗しているか、乾電池の向きが逆になっている	新品のアルカリ乾電池を正しい向きに入れてください。	☛P27
ACTランプが遅い点滅をしている	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☛P29
	S/Tユニットの内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☛P174、180
PWR (POWER) ランプが赤く点滅している	停電動作中のため	故障ではありません 停電になっていない場合、電源アダプタの接続を確認してください	—
PWR (POWER) ランプ、ERランプ、ACTランプが点滅している	バージョンアップ時正常に終了できなかった	再度バージョンアップ操作を行ってください	☛P169
本体があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—
電源アダプタがあたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—

●アナログ通信機器 / INS ネット 64 機器

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	アナログ通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P31
	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☛P29
	停電中のため	故障ではありません 停電時動作の新品のアルカリ電池を入れてください	☛P27
	発信規制の設定が「0 発信規制」または「外線発信規制」に設定されている	発信規制の設定を「規制しない」に設定してください	☛P75、148、「参考情報」
	接続機器の設定が「接続しない」になっている	接続機器の設定を「接続しない」以外に設定してください	☛P31、45、146

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	128K マルチリンク PPP でデータ通信中で、かつリソース BOD を「使用しない」に設定している	データ通信を中断してください またはリソース BOD を「使用する」に設定してください	☛「参考情報」
アナログ通信機器の着信ができない	なりわけ動作設定が「セキュリティ(着信拒否)」に設定されている	なりわけ動作設定を「識別リング」に設定してください	☛P86、146、 「参考情報」
	サブアドレスなし着信の設定が「着信しない」に設定されている	サブアドレスなし着信を「着信する」に設定してください	☛P124、146、 「参考情報」
	着信拒否の設定が「する」に設定されている	着信拒否を「しない」に設定してください	☛P76、148、 「参考情報」
	グローバル着信の設定が「着信しない」になっている	グローバル着信を「着信する」に設定してください	☛P118、144、 「参考情報」
	データポート設定の RVS-COM 転送の設定が「ただちに自動転送」に設定されている	データポート設定の RVS-COM 転送を「アナログ通信機器の操作で転送」に設定してください	☛「参考情報」
	着信転送または疑似着信転送が設定されている	着信転送を「使用しない」に設定してください	☛P128、138
INS ネット 64 用通信機器の発信、着信ができない	S/T 端子に INS ネット 64 用通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P179
	S/T ユニットの終端抵抗スイッチが正しく設定されていない	終端抵抗スイッチを正しく設定してください	☛P174、180
アナログポートに接続したファクスの着信応答ができない	ファクスを接続したアナログポートの HLC の設定が「する」で、かつ接続機器の設定が「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」の場合に、発信側が携帯電話機、PHS 対応電話機、INS ネット 64 用通信機器などから発信した	携帯電話機、PHS 対応電話機、INS ネット 64 用通信機器などからの着信は、HLC の設定が「電話」となるため着信しません 電話もファクスも着信を受けようとするときは、HLC 設定を「しない」に設定してください	☛P125、150、 「参考情報」
	FAX 自動転送の設定が「する」に設定されていてファクスが TEL1 ポートに接続されている	ファクスを TEL2 ポートに接続してください	☛P103

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
着信時に内線着信音が鳴り、応答するとモデム音が聞こえる	ナンバー・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	●P45、108、146
	モデムダイヤルイン未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、モデムダイヤルイン着信電話番号通知が「する」に設定されている	モデムダイヤルイン着信電話番号通知を「しない」に設定してください またはモデムダイヤルインに対応したアナログ通信機器を接続してください	●P120、146、「参考情報」
通話中に着信があるとモデム音が聞こえる	キャッチホン・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	●P110、150、「参考情報」
通話後、ハンドセットを置くと着信音が鳴ったり、発信しようとしてハンドセットを取りあげると「ブップブップ…」という発信音が聞こえる	ハンドセットを置いてから取りあげるまでの間隔が短いため、内線機能がはたらいている	ハンドセットの操作をゆっくり行ってください	●P74
		フッキング検出タイマを「長い」に設定してください	●P79、142、「参考情報」
		内線機能の設定を「使用しない」に設定してください	●P79、140、「参考情報」
TEL1ポートにファクスを接続しているが、ファクス受信時1～2秒で切断されてしまう	FAX自動転送機能がはたらき、TEL2ポートへ転送されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	●P103、140、「参考情報」
アナログ通信機器で相手の声や自分の声が大きく聞こえる	アナログ通信機器によっては受話音量が大きくなる場合がある	アナログ通信機器のPADを設定してください アナログ通信機器のPAD設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください	—
		アナログ通信機器のPAD設定がない場合は、本商品の受話音量調整を「小」に設定してください	●P75、148、「参考情報」

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器で通話中に雑音が入る	本商品の FG 端子がアースに接続されていない	本商品の FG 端子にアースを接続してください アナログ通信機器に FG 端子がある場合は FG 端子をアースに接続してください	☛P29
	コードレス電話機や携帯電話機、PHS 対応電話機などを本商品に近づけて使用している	コードレス電話機や携帯電話機、PHS 対応電話機などを本商品から離してください	—
アナログポートに接続した料金表示機能付き電話機の料金表示と本商品の通信料金表示が一致しない	電話番号案内(104)や携帯電話機、PHS 対応電話機に電話をした場合は正しく課金されない	故障ではありません	—
INS キャッチホンが利用できない	FAX 自動転送が「する」に設定されている	FAX 自動転送を「しない」に設定してください	☛P103、140、 「参考情報」
疑似キャッチホンが利用できない	FAX 自動転送が「する」に設定されている	FAX 自動転送を「しない」に設定してください	☛P103、140、 「参考情報」
INS ナンバー・ディスプレイが利用できない	INS ナンバー・ディスプレイを契約していない	INS ナンバー・ディスプレイを契約してください	☛P108
	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	☛P45、 108、146、 「参考情報」
	ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☛P108
キャッチホン・ディスプレイが利用できない	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	☛P45、 108、146、 「参考情報」
	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が「しない」になっている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください	☛P110、150
	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☛P110
INS ボイスワープ／INS ボイスワープセレクトが利用できない	発信者番号が登録されていない	TEL1 ポートまたは TEL2 ポート設定画面の発信者番号欄に INS ボイスワープ／INS ボイスワープセレクトを行う電話番号を登録してください	☛P133、148、 「参考情報」

3 ご参考に

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
INS ネット 64 用通信機器で通話中に雑音が入る	本商品の FG 端子がアースに接続されていない	本商品の FG 端子にアースを接続してください 接続したパソコンに FG 端子がある場合は FG 端子をアースに接続してください	←P29

●パソコン接続

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
設定ユーティリティが開けない インターネットに接続できない	RS-232C ポートをご利用のとき本商品とパソコンの端末速度が合っていない	パソコンの通信速度設定を確認してください	—
	USB ポートをご利用のとき USB ドライバーをインストールしていない	USB ドライバーをインストールしてください	☛P41、 「参考情報」
	本商品とパソコンが接続されていない	本商品とパソコンの接続を確認してください	—
	モデム定義ファイルや RS-232C ポート用ドライバーのインストールが完了していない	手順に従ってインストールを完了してください	☛「参考情報」
	以前にインストールした RS-232C ポートと異なる RS-232C ポートに接続している	以前にインストールした RS-232C ポートに接続してください 接続する RS-232C ポートを変更する場合は、いったんドライバーを削除してから再度インストールしてください	☛163
	インターネット接続時に、接続の設定が正しく設定されていない	「インターネットにうまく接続できないときのチェックポイント」を参照してください	☛P71
	RS-232C ポートをご利用のとき、RS-232C ポート用ドライバーが正常にインストールされていない	RS-232C ポート用ドライバーをアンインストールしてください アンインストール後、RS-232C ポートを使うための設定を再度行ってください	☛P163 ☛「参考情報」
	RS-232C ポートをご利用のとき、パソコンを起動してから RS-232C ケーブルを接続した、または本商品の電源を入れた	本商品の電源を入れ、RS-232C ケーブルで接続してから、パソコンを起動してください	—
パソコン内蔵のモデムが使えない	パソコンの回線接続端子に電話回線を接続していない	パソコンの回線接続端子と本商品の TEL1 ポートまたは TEL2 ポートを接続してください	—
USB ポートが使用できない	USB ドライバーをインストールしていない	USB ドライバーをインストールしてください	☛P41、 「参考情報」
	OS のバージョンが USB に対応していない	使用しているパソコンの OS のバージョンを確認してください	☛P36
	COM ポートが開いていない	COM ポートが開いているか確認してください	☛P52、156
	USB ケーブルが正しく接続されていない	USB ケーブルの接続を確認してください	☛P41、 「参考情報」
USB ドライバーをインストールしたが動作しない（「デバイスマネージャー」画面の USB ドライバーに「！」がついている）	USB ドライバーが正しく設定されていない	USB ドライバーを正しく設定してください	☛P156

1
USB
ドライ
バー

2
アソ
フト
ウェア
の

3
「参
考
情
報」

● OS 関連

- Q. 添付されている CD-ROM 内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイルが対応している OS の種類は？**
A. Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 に対応しています。
- Q. 添付されている CD-ROM 内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイルは英語版 OS (Windows®) に対応していますか？**
A. 英語版 OS (Windows®) には対応していません。
- Q. USB ポートでデータ通信をしたいのですが？**
A. Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 がインストールされていることが必要です。

● 設置／接続

- Q. 内蔵の DSU を使用しないようにできますか？**
A. INS メイト V30S/T ユニット (オプション) をご利用になることにより、内蔵 DSU を使用しないようにできます。
- Q. 極性反転スイッチはついていますか？**
A. 本商品は INS ネット回線の極性が反転していても自動認識して正常動作を行います。お客様が極性を意識する必要はありません。
- Q. リセットスイッチ、電源スイッチはありますか？**
A. ありません。本商品をリセットする場合は電源プラグをコンセントから抜いて (乾電池を入れている場合は電池も一度取り外して)、再度差し込んでください (再度乾電池を取り付けてください)。この場合、設定内容は変更されません。なお、本商品のすべての設定内容をリセットするにはパソコンのターミナルソフトから AT コマンドで ATZ98 と入力してください。または、電話機からリセット処理 (機能番号: 999 ◀P144、167) を行ってください。
- Q. 乾電池は必ず入れないといけないのでしょうか？**
A. 乾電池を入れていなくても通電状態の時は問題ありません。乾電池を入れていないと不意の停電の際でも、すべてのポートが使用できます。なお、乾電池はお客様でご準備願います。
- Q. 乾電池には何を使ってもいいのですか？**
A. 公称電圧 1.5 V のアルカリ単 3 乾電池に限ります。電圧の低い 1.2 V のニカド電池や、長時間の使用に耐えないマンガン電池は使用しないでください。また、定期的に乾電池を交換してください。

Q. 停電時に使用できる機能は何ですか？

A. パソコンなどがバッテリーで動作をしていれば、すべての機能が使用できます。

Q. 停電になって電池動作モードに切り替わったあと、何時間の動作ができますか？

A. アナログ通信機器の場合、新品の乾電池で待ち受け時間約3時間、または1つのアナログポートの通話で通話時間約2時間の動作ができます。

Q. INS メイト V30S/T ユニット (オプション) の S/T 端子に他の DSU 内蔵 INS ネット 64 用通信機器を接続することができますか？

A. DSU を未使用にできるタイプ (本商品など) が接続できます。DSU を未使用にできないタイプの場合は、その INS ネット 64 用通信機器に S/T 端子があれば、本商品の DSU を未使用にすることにより接続することができます。

Q. S/T 端子に他の INS ネット 64 用通信機器を何台接続することができますか？

A. INS メイト V30S/T ユニット (オプション) を取り付けると、INS ネット 64 用通信機器を、最大7台まで接続して使用できます。接続のしかたによって終端抵抗スイッチの設定が異なります。INS ネット 64 用通信機器を1台接続する場合、接続ケーブルが10 m以下であれば、終端抵抗スイッチが「ON」の状態で使用できます。

INS ネット 64 用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10 m以上の場合、および2～7台接続する場合は、終端抵抗スイッチを「OFF」に設定してください。また本商品から見てINS ネット 64 用通信機器接続ジャックに接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗付きモジュラジャックをご使用ください。(●P180)

Q. 電話機を本体から離れた場所に設置する場合、アナログポートからの配線は何mまで可能でしょうか？

A. 使用する電話機により異なりますが、配線するケーブルが0.5 φの場合で約200 mを目安としてください。

Q. アナログポートから屋外に配線することはできますか？

A. できません。雷などによる故障の原因になりますので屋外配線は行わないでください。

Q. アナログポートはすべてのアナログ通信機器で使用できますか？

A. 一般のアナログ回線 (電話回線) との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もありますのでご注意願います。

Q. 購入時に RS-232C ケーブルや USB ケーブルは添付されていますか？

A. パソコン接続のためのケーブル類としてRS-232Cケーブル、USBケーブルがそれぞれ1本(1個)添付されています。

(前ページの続きです)

●ランプ表示

Q. ACT ランプが遅い点滅をしています。何が原因でしょうか？

A. 回線に異常があります。本商品は電源プラグを電源コンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。自己診断中は PWR、ACT および ER ランプが点灯します。自己診断が終了すると ACT ランプおよび ER ランプが消灯します。自己診断が終了したあとも ACT ランプが遅い点滅のままのときは、INS ネット 64 回線が接続されているか確認してください。それでも ACT ランプが遅い点滅をする場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

Q. PWR ランプが赤く点滅しています。何が原因でしょうか？

A. 乾電池で動作中です。パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、電池動作モードに切り替わる場合があります。乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。

Q. インターネットに接続していますが本商品の ER ランプが点灯しています。これは正常でしょうか？

A. ER ランプの ER はデータ端末レディの意味であり、パソコンが通信開始の準備ができていることを表しますので正常動作です。

Q. パソコン、電話機を使用していない状態で、本体の ACT ランプが点灯と点滅の繰り返しとなっています。なぜでしょうか？

A. フレックスホンサービスの着信転送または疑似着信転送を起動中です。着信転送を起動しない場合は解除してください。

●アナログポート

Q. 着信時にアナログポートに接続した電話機のベルが最初の 5 回ほどは短いサイクルで鳴り、その後普通の呼び出し音に変わります。何か設定が必要でしょうか？

A. アナログポートにナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない状態で、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定が「する」になっています。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない場合は、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定を「しない」にしてください。
詳しくは、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

Q. 相手側が先に終話した場合、切断信号（新たな切断信号）は出力されますか？

A. 出力されません。

Q. アナログポートに接続した電話機から発信しようとして、ダイヤルボタンを押してもツーンという発信音が止まらずに発信できません。着信はできますがなぜでしょうか？

A. 電話機のダイヤル種別と本商品のダイヤル種別の設定を合わせる必要があります。本商品の設定は PB 固定（初期値）または DP 固定のいずれかです。

Q. 1 つのアナログポートに複数の電話機をブランチ接続することができますか？

A. 1 つのアナログポートには 1 台のアナログ通信機器を接続してください。

Q. アナログポートに接続した電話機からアナログポートの設定ができますか？

A. TEL1、TEL2 どちらのポートからでも設定できます。ただし同時にはできません。

Q. インターネットに接続するのに「ISDN の場合はターミナルアダプタのアナログポートにモデムを接続してください」といわれましたがどうすればよいのですか？

A. パソコンにモデムが内蔵されている場合は、本商品のアナログポートとパソコン内蔵モデムの回線ジャックの間をパソコンに添付の電話機コードや市販の電話機コードで接続してください。

●データポート

Q. 無通信監視機能とは？

A. データポート通信中に通信相手とデータのやりとりがないとき（無通信状態）に通信を切断する機能です。監視時間を分単位で設定（0～10分：0は監視しない／初期値10分）することができます。ただし、インターネットサービスプロバイダによっては監視パケットなどを定期的に発信する場合があります、この場合は切断されませんので必ずパソコンから切断操作を行うか、強制切断タイマとの併用でご利用ください。

Q. 強制切断タイマとは？

A. データポート通信中に通信時間が設定した時間を超えたとき、強制的に通信を切断させることができます。無通信監視機能と異なり、インターネットサービスプロバイダから監視パケットが送出されても、強制的に通信を切断します。強制切断タイマは時間単位で設定（0～10時間：0は切断しない／初期値10時間）することができます。うっかりした切断忘れ防止のためにも、設定しておくことをおすすめします。

Q. 本商品を2台対向でパソコン通信を行おうとしていますが、うまく接続できません。なにが原因でしょうか？

A. パソコン通信ソフトは非同期専用ではありませんか。本商品は非同期／同期 PPP 変換、128K マルチリンク PPP（発信のみ）での通信が可能です。非同期用のパソコン通信ソフトでは接続できません。

Q. データポートに接続したパソコンから FAX モデムを使用してファクス送受信することができますか？

A. できません。パソコンから FAX モデムを使用してファクス送受信する場合はアナログポートに接続してご利用ください。

Q. PIAFS での発着信ができますか？

A. PIAFS には対応していません。

(前ページの続きです)

Q. 128K マルチリンク PPP でプロバイダに接続できません。非同期/同期 PPP 変換 (64 kbit/s) では接続できます。なぜでしょうか？

A. 以下の点をご確認ください。

- ① 加入されているプロバイダは 128K マルチリンク PPP に対応していますか？また 128K マルチリンク PPP 対応のアクセスポイントの電話番号に接続されていますか。
- ② 本商品とパソコン間の通信速度は 230.4 kbit/s で使用することをおすすめします。
- ③ リソース BOD を使用しない状態でアナログポートを使用していませんか。
- ④ 一部のプロバイダで接続できない場合がございます。

Q. 128K マルチリンク PPP 接続時は料金が高くなりますか？

A. 非同期/同期 PPP 変換の倍の料金が必要です。ただし INS テレホーダイご利用の場合は、INS テレホーダイによる料金となります。

Q. リソース BOD の設定をして 128K マルチリンク PPP 接続を利用しています。アナログポートから発信する時は正常に発信できますが (B チャンネル 1 本削除)、着信時は話中となります。なぜでしょうか？

A. 当社との契約で通信中着信通知サービスが必要です (月額料金：無料)。着信時すでに B チャンネルの空きがない (インターネット接続で B チャンネル 2 本使用中) 状態でも D チャンネルを通じて、着信があったことを通知します。

Q. スループット BOD を利用して時間帯により B チャンネル接続数を自動変更することはできますか？

A. 時間帯による自動変更はできません。データ量による自動変更のみ可能です。

Q. パソコンのモデムの照会を参照すると AT11 ~ 4 以外が「ERROR」表示等となりますが正常でしょうか？

A. 正常です。本商品は「AT11 ~ 4」以外はサポートしておりませんので「ERROR」をパソコンに返します。

Q. データポートのコールバック機能はありますか？

A. ありません。

Q. 非同期/同期 PPP 変換で接続したとき、どこで確認できますか？

A. ACT ランプが緑色に点灯することで確認できます。

Q. RS-232C の信号線の ER 信号を「常時 ON」にすることはできますか？

A. できます。設定ユーティリティのデータポート設定内にある「ER 信号制御」で「常時 ON」としてください。また、AT コマンドの AT&D0 でも可能です。

Q. INS なりわけサービスの機能がわからないのですが？

A. アナログポートへの着信時、登録されている電話番号から着信があった場合に通常とは異なる着信音を鳴らしたり、登録されている電話番号以外から着信があった場合は着信を拒否することができる機能です。INS なりわけサービスは当社との契約（有料）が必要です。また疑似なりわけ機能を利用して一般の電話回線からの電話を識別するには当社との INS ナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

Q. AT コマンドで発信する場合、相手の電話番号と着サブアドレスの区切り子は何でしょうか？

A. 区切り子は / です。（例） ATD *****/ **

● S/T 端子（オプション）**Q. S/T 端子とデータポートの同時利用はできますか？**

A. それぞれ B チャンネル 1 本の利用であれば可能です。

Q. S/T 端子に接続した機器をダイヤルイン番号で呼ぶことはできますか？

A. できます。ダイヤルイン番号の設定は S/T 端子に接続した機器に設定してください。

Q. S/T 端子に接続した INS ネット 64 用通信機器でリソース BOD が使えますか？

A. 使えません。リソース BOD は本商品のアナログポートの発着信時に使用できます。

Q. データポートに接続したパソコンと S/T 端子に接続したターミナルアダプタに接続されているパソコンで同時にインターネット接続ができますか？

A. できます。ただし INS ネットの B チャンネルが 2 本とも空きの場合です。

(前ページの続きです)

●バージョンアップ/設定ユーティリティ/モデム定義ファイル

Q. ファームウェアバージョンを確認するにはどうすればよいですか？

A. 本商品に添付されている CD-ROM 中のイーザーウィザードをパソコンにインストールして、イーザーウィザードの [バージョンアップ] をクリックします。またはイーザーウィザードの [設定ユーティリティ] をクリックして、設定ユーティリティメインメニュー (起動直後の画面) の [バージョン情報] の「ファームウェアバージョン」にて確認することができます。また、本商品のファームウェアバージョンアップにともない設定ユーティリティもバージョンアップされる場合があります。その場合の設定ユーティリティのバージョン確認は設定ユーティリティメインメニュー (起動直後の画面) の [バージョン情報] の「設定ユーティリティバージョン」にて確認することができます。

Q. ファームウェアバージョンアップを行ったあと、通信料金、詳細履歴を確認したらすべてクリアされていましたか？

A. ファームウェアバージョンアップを行う際、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダー設定」の内容はクリアされます。

Q. ファームウェアバージョンアップを行う際、設定内容がクリアされることはないでしょうか？

A. バージョンアップを行う前の状態で保持されます。ただし、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダー設定」の内容はクリアされます。

Q. INS タイムプラスを利用していますが、設定ユーティリティの「料金情報」で確認すると3分9円で累積されていますか？

A. 本商品の「料金情報」表示の内容は通信切断時の交換機からの料金情報をもとにしています。現在 INS タイムプラスを考慮した料金情報が交換機から送出不されるためこのようになっております。もちろん料金ご請求の際には INS タイムプラスの料金を反映した料金となっておりますのでご安心ください。

Q. 他の INS メイトシリーズの設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、INS メイト V30Slim でも利用可能ですか？

A. 利用できません。設定ユーティリティ、モデム定義ファイルは機器に添付されている物をご利用ください。

Q. モデム定義ファイルをなくしてしまいました。ホームページからダウンロードできますか？

A. ダウンロードできます。

Q. ユーティリティのインストール中に誤ってパソコンの電源を強制切断してしまいました。その後ユーティリティのインストール/アンインストールができなくなったのですが、どうすればよいですか？

A. OS の「システムの復元」機能を使用してパソコンを復元してください。正常に動作していた時点の状態に戻すことで改善する可能性があります。(万一の場合に備えて定期的に復元ポイントを作成することをおすすめします。)

アルファベット

- ACT (Active) ランプ 25
- AT コマンド 165
- CD-ROM 20,165
- COM ポート
 - 通信ポート選択 52
- DP 固定 31
- DSU 29
 - すでにお持ちの DSU を
ご使用になるには 178
- ER (Equipment Ready) ランプ 25
- FAX 自動転送 103
- FAX 無鳴動着信 105
- FG 端子 26
- HLC 設定 125
 - HLC の設定で呼び分ける 115,125
- INS キャッチホン 82
 - すべての電話をキャッチする 127,135
 - 優先着信ポート指定と組み合わせて
使う 85
- INS なりわけサービス 86
- INS ナンバー・ディスプレイ 108
 - 相手の名前を表示するには 112
 - アナログポートの簡単設定で
設定する 45
 - キャッチホンと組み合わせて
利用する 110
- INS ナンバー・リクエスト 110
- INS ネット 64 のサービス 17
 - INS キャッチホン 82
 - INS なりわけサービス 86
 - INS ナンバー・ディスプレイ 108
 - INS ボイスワープ 126,133
 - INS ボイスワープセレクト 126,133
 - i・ナンバー 114,116
 - 三者通話 92
 - 着信転送 126,128
 - 通信中転送 97
 - ネーム・ディスプレイ 112
 - 発信者番号通知 106
 - フレックスホン 18
- INS ボイスワープ 126,133
 - 無応答時転送 127
 - 無条件転送 126
 - 話中時転送 127
- INS ボイスワープセレクト 126,133
- INS マジックボックス 127,135
- INS メッセージ到着お知らせサービス 101
- i・ナンバー 114,116
 - アナログポートの簡単設定で
設定する 48
 - モデムダイヤルイン 120
- L モード 99
- MSG (Message) ランプ 25,99,101
- OS
 - Q&A 188
 - パソコンの OS と使用できる
データポート 36
- PWR (POWER) ランプ 25
- Q&A 188
- RS-232C ケーブル 24
- RS-232C ポート 26
 - インタフェース 181
 - パソコンとの接続 36
 - 不要になったドライバーを
削除する 163
- S/T 端子 175,193
- S/T ユニット 173
- SD/RD (Send Data/
Receive Data) ランプ 25
- TEL1 ポート 26
- TEL2 ポート 26
- USB ケーブル 24

- USB ドライバー**
 USB ドライバーを
 使用できないとき…………… 156
 インストールする…………… 41
 イージーウィザードが
 利用できないとき…………… 165
 不要になったドライバーを
 削除する…………… 163
- USB ポート**…………… 26
 パソコンとの接続…………… 36
- 五十音**
- 【ア行】**
アナログポート…………… 26
 Q&A…………… 190
 アナログポートの簡単設定…………… 50
 電話機から機能を設定する…………… 136
イージーウィザード
 USB ドライバーを
 インストールする…………… 41
 アナログポートを設定する…………… 45
 インターネット接続の
 設定をする…………… 63
インターネット
 インターネット接続の
 設定をする…………… 63
 インターネットに
 うまく接続できないとき…………… 71
 インターネットに
 接続する…………… 66,68
 接続するまでの手順…………… 60
オプション…………… 173
音量
 受話音量を調節する…………… 75
- 【カ行】**
回線接続端子…………… 26
カレンダー設定…………… 56
乾電池…………… 27
疑似キャッチホン…………… 83
 アナログポートの簡単設定で
 設定する…………… 45
疑似三者通話…………… 93
疑似着信転送…………… 126,128
疑似なりわけ…………… 87
機能…………… 16
キャッチホン…………… 82
 INS キャッチホン…………… 82
 INS ナンバー・ディスプレイと
 組み合わせて利用する…………… 110
 アナログポートの簡単設定で
 設定する…………… 45
 疑似キャッチホン…………… 83
 すべての電話をキャッチする…………… 135
 なりわけと組み合わせて利用する… 89
 両方のアナログポートに電話機を
 接続しているとき…………… 85
キャッチホン・ディスプレイ…………… 110
切替モード…………… 92,94
グローバル着信…………… 118
故障かな?と思ったら…………… 182
コネクタ形状…………… 181
- 【サ行】**
サービス
 INS ネット 64 のサービス…………… 17
サービスガイド…………… 16
サブアドレス…………… 124
 サブアドレスも表示する…………… 109
 サブアドレスを指定して
 電話をかける…………… 75
 特定の電話機を呼び出す…………… 115,124

参考情報	57,165
三者通話	92
疑似三者通話	93
フレックスホン三者通話	92
識別リングング	88,89
自己診断	30
終端抵抗スイッチ	180
手動設定	165
受話音量調節	75
仕様	200
初期化	166
セキュリティ (着信拒否)	88,89
接続	29
INS ネット 64 回線の接続	29
Q&A	188
アナログ通信機器を 1 台のみ	
接続する	31
外付け DSU を使う	178
ダイヤル式 (DP) のアナログ通信	
機器を接続する	31
他の INS ネット 64 用通信機器を	
接続する	179
電話機などの接続	31
パソコンとの接続	36
接続機器の設定	125
設定	
設定一覧	138
設定をお買い求め時の状態に	
戻す	166
電話機から機能を設定する	136
設定記入シート	165
設定ユーティリティ	
カレンダー設定	56
起動	50
基本操作	53
通信ポート選択	52
メニュー画面	53
セット内容	24

外付け DSU	178
【タ行】	
ダイヤルイン	114,118
アナログポートの簡単設定で	
設定する	49
モデムダイヤルイン	122
ダイヤル桁間タイマ	75
ダイヤル式 (DP)	31,75
ダイヤル終了識別	75
ダイヤル種別	31,75
着信	76
お話し中にかかってきた電話に出る	84
着信音	
キャッチホン着信音で相手を	
識別する	89
着信音が鳴る電話機を指定する	81
着信音で相手を識別する	86
着信音を鳴らさずにファクスを	
受信する	105
着信拒否	76,90
非通知の着信を拒否する	91
着信転送	
疑似着信転送	126,128
着信転送 (フレックスホン)	126,128
停止/再開	132
通信中着信識別通知	89
通信中転送	97
通信料金	
各ポートの料金情報	53
停電	27
データ通信	
詳細履歴	53
データポート	
Q&A	191
設定	53
電源アダプタ	24
電源アダプタコード端子	26

1
USB
ドライ
バー
につ
いて

2
ル
ア
ソ
フ
ト
ウ
ェ
ア
の
つ
い
て

3
「
参
考
」

- 転送**
 お話中に別の電話番号に
 転送する…………… 97
 外からの電話を別の相手に
 転送する…………… 128
 電話機からファクスへ
 自動転送する…………… 103
 内線で転送する…………… 80
- 電池**
 電池カバー…………… 26
 電池動作モード…………… 27
 電池ホルダ…………… 26
- 電話機コード**…………… 24
- 電話番号**
 電話番号が通知されない着信を
 拒否する…………… 91
 電話番号が通知されないときに
 メッセージで応答する…………… 110
 電話番号の通知のされかた…………… 106
- 電話を受ける**…………… 76
 お話中にかかってきた電話に
 出る…………… 84
 電話に出られないときの
 いろいろな方法…………… 126
- 電話をかける**…………… 74
 電話がかげられることの確認…………… 33
- 同期 64 kbit/s**…………… 64
- 動作の確認**…………… 30
- 取扱説明書 (簡易版)**…………… 20
- 【ナ行】**
内線機能の停止…………… 79
内線着信ナンバー・ディスプレイ…………… 79
内線通話…………… 78
内線転送…………… 80
 電話機からファクスに転送する…………… 76
内線呼出信号設定…………… 79
内蔵 DSU スイッチ…………… 174,180
- なりわけ**
 INS なりわけサービス…………… 86
 キャッチホンと組み合わせて
 利用する…………… 89
 疑似なりわけ…………… 87
- なりわけ動作設定**…………… 86,87
- ナンバー・ディスプレイ**…………… 46
 INS ナンバー・ディスプレイ…………… 108
 アナログポートの簡単設定で
 設定する…………… 45
- ネーム・ディスプレイ**…………… 112
- 【ハ行】**
バージョン…………… 194
 設定ユーティリティのバージョンを
 確認する…………… 53
- バージョンアップ**…………… 169,194
- パソコン活用編**…………… 57,165
- パソコンとの接続**…………… 36
- 発信**…………… 74
 発信規制…………… 75
- 発信者番号**…………… 106
 一般回線からの電話番号も
 表示する…………… 108
 発信者番号通知…………… 106
- 非通知**…………… 106
 非通知の着信を拒否する…………… 91
 非通知理由…………… 110
- 非同期/同期 PPP 変換**…………… 25
- ファクス**
 着信音を鳴らさずに受信する…………… 105
 電話機からファクスに転送する…………… 76
 電話機からファクスへ
 自動転送する…………… 103
 ファクスを受ける…………… 76
 ファクスを送る…………… 74
- フッキング**…………… 79



1
USB
ドライバ
ー
につ
いて

2
ソフ
トウ
ェア
につ
いて

3
参
考

フレックスホン…………… 18
 INS キャッチホン…………… 82
 三者通話…………… 92
 着信転送…………… 126,128
 通信中転送…………… 97
 ヘルプ…………… 53
 保守サービスのご案内…………… 201
 ボトムカバー…………… 26

【マ行】
 マルチリンク PPP…………… 25
 ミキシングモード…………… 92,95
 迷惑電話防止…………… 90
 モデムダイヤルイン…………… 114,120
 i・ナンバーを利用する場合…………… 120
 ダイヤルインを利用する場合…………… 122

【ヤ行】
 ユーティリティ
 アンインストールする…………… 164
 インストールする…………… 38
 優先着信ポート指定…………… 81
 呼出音
 内線の呼出音を変える…………… 79
 呼び分け…………… 114

【ラ行】
 ランプ表示…………… 25,190
 センタにメッセージが
 あるとき…………… 99,101
 着信転送、疑似着信転送が
 行われているとき…………… 132
 リセット処理…………… 144

【ワ行】
 話者切替タイマ…………… 96,98

回線	適用回線	INS ネット64	
	通信交換方式	B チャンネル回線交換	
	接続インタフェース	6 ピンモジュラジャック	
	インタフェース形態	P - MP 接続	
	レイヤ 1 起動種別	呼毎起動または常時起動	
RS-232C ポート	電氣的条件	ITU-T 勧告 V.28 準拠	
	論理的条件	ITU-T 勧告 V.24 準拠	
	物理的條件	D-SUB9 ピンコネクタ	
	端末速度 (kbit/s)	非同期	9.6/19.2(38.4/57.6/115.2/230.4) () 内は V.28 規格外
	通信速度 (kbit/s)	非同期/同期変換	64/128
	接続手順	AT コマンド	
USB ポート	フロー制御	RS/CS	
	端末速度	非同期 12 Mbit/s	
アナログポート	6 ピンモジュラジャック ×2 約 -48 V 給電 (待機時) 極性反転あり ナンバー・ディスプレイ/ネーム・ディスプレイ*/キャッチホン・ディスプレイ対応		
使用電源	AC100 V ± 10 V (50 / 60 Hz) 乾電池による DC9 V (停電時)		
消費電力	約 9 W		
外形寸法	約 174 mm (高さ) × 約 134 mm (奥行) × 約 49 mm (幅)		
質量	約 0.6 kg (電源アダプタ含む)		
使用条件	温度 0 ~ 40 °C 湿度 20 ~ 85 % RH (結露しないこと)		

S / T 点インタフェース (オプション) : 8 ピンモジュラジャック

※ 「ネーム・ディスプレイ」サービスは、平成 25 年 2 月 28 日をもってサービス提供を終了しています。

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

本商品について、ご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9:00～17:00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

（ガイダンス後 4 を選択してください）
携帯電話・PHS からのご利用可能です。

受付時間 9:00～17:00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



©2018 NTTEAST・NTTWEST

本 2237-7 (2018.9)
INS メイト V30SLIM トリセツ